



専門は小児科循環器・川崎病。

周産期医療※の経験としては、年間500例の分娩を取扱う地域周産期センターのNICU・小児循環器科医として勤務、早産・低出生体重児・呼吸障害の新生児などの蘇生や処置管理を経験。

神戸徳洲会新病院の小児科・周産期医療の立ち上げのため2021年4月より赴任する。

※「周産期」とは、妊娠22週から生後満7日未満までの期間を指し、「周産期医療」とは、この期間の母体、胎児、新生児を総合的に連続的に取り扱う医療で、妊娠している女性の体調管理や出産時の適切な措置をとるとともに、お腹の中の胎児、生まれてきた新生児の管理を徹底して、母子ともに安全なお産をするためのトータルケアを行うことをいう。



いよいよお産が始まります

垂水には周産期対応ができる病院がなかったのですが、いよいよ今年(2021年10月)から、当院でお産がスタートします。

生まれてくる新生児の10人に1人は何かしらの医療的な介入が必要になると言われています。垂水区内での急な分娩にも関わらず遠く離れた病院へ搬送されるケースもあり、そんな救急搬送にも対応できるように研修活動を行っています。先日は助産師、産科医師などの周産期専門職以外にも救急救命士や外来看護師に向けた新生児蘇生法の講習会も行いました。2025年の新病院スタートに向けて、病院全体・オールスタッフで赤ちゃんを見守れるようなシステム作りを行っています。



※8月28日(土) 産婦人科医師、看護師を対象に新生児誕生に向けた講習を行いました。

川崎病を見逃すな!

耳慣れない病気かもしれませんが、川崎病は最近急増しているとっても怖い病気です。なんと最近では子供の50人に1人が罹患しています。

発熱を放っておくと高頻度で心臓を栄養している血管に瘤を作り、不整脈や心筋炎を合併してしまうので、できるだけ早急に治療をしなければなりません。特に見逃されやすい病気、診断や治療には専門の検査が必要となってきます。原因不明の小児の発熱はご相談ください。

小児循環器外来 毎週水曜日 13:00~16:00

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響によって、朝に起きられない、体がだるい、学校に行けない、やる気が出ないと訴える子どもが増加しています。本人達は学校へ行きたいと体が動けない状態で、決してサボっているわけではありません。ストレスによる自律神経失調症もあれば、血液疾患、内分泌疾患、心臓病など大きな病気が隠れている可能性がありますので、お気軽にご相談ください。自律神経失調症も含めて総合的に診察させていただきます。また学校検診で指摘された心雑音や心電図異常なども対応させていただきます。

夜診 毎週木曜日 17:00~19:00

お子様の気になる症状など診察しております。今春からスタートした夜診は忙しくて昼間に来院できないご家庭に好評いただいております。

診療科目 総合内科、外科、心臓血管外科、循環器内科、脳神経外科、放射線科、産婦人科、小児科、整形外科、泌尿器科、神経内科、呼吸器内科

専門診療 尿失禁外来、女性カウンセリング外来、膠原病・リウマチ外来、糖尿病外来、
外来科目 肝臓外来、ペースメーカー外来、鼠径ヘルニア外来、大腸肛門外来

当院が進めていた新病院整備事業が昨秋、神戸市により正式に採択事業として選定されました。これにより、当初より計画をしていた「産科・小児救急を含めた救急機能を持った総合病院」として、近隣の医療機関と連携を図る「在宅療養後方支援病院」として、これまで以上に地域から信頼を得られる医療機関となるよう努めてまいります。

※開設の場所 神戸市垂水区旭が丘2丁目66番 ※開設予定年月 令和7年(2025年)2月1日 ※病床数(予定) 216床



垂水に2棟(上高丸/現在の病院、さらに旭丘/垂水体育館跡地)の神戸徳洲会病院ができます。



診療時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝診察 9:00~12:00		○	○	○	○	○	○	/
夜診察 17:00~19:00		○	○	○	○	○	○	/

